

Rhapsody in Period

満ち欠けと生きる仲間たち
目印をこぼし続ける私
何も手がかりにできず
獣を呼ぶにおいを放ち
軌道を外れ一人で歩く
行き倒れた
介抱された
止まった

一カ月が四十年

短距離走かつ長距離走
目まぐるしく走り続ける人びと
知らずに生きられる人びと
脱落し傍観者となった私
刻々と揺れ動く狂詩曲
騒々しさに気絶する奴隷
軋んだ体から流れる悲痛な調べ
無知な特権階級の哄笑
忙しなく争いが起きる

月の軌に囚われた私の悲劇を
聴衆の私は喜劇として聴く